

2026年度（令和8年度）

第6期 アクションプラン

2027－2029

（令和9年度－令和11年度）

～絆・選ばれる理由があるまち～
の実現に向けて

令和8年度
南知多町

このアクションプランに基づいて、各課室は予算要求をします。
町の財政状況等により不採択、次年度以降先送りとなる事業もありますので、ご理解をお願いします。

目 次

第1章 アクションプラン策定にあたって・・・・・・・・・・ 1

- 1 第7次南知多町総合計画とは
- 2 アクションプラン策定の趣旨
- 3 アクションプランの概要
- 4 重点政策とは
- 5 アクションプランの進行管理
- 6 総合計画の管理指標
 - ア 目標指標（K G I）
 - イ 基本目標の管理指標（K P I）
 - ウ 基本施策の管理指標（K P I）
 - エ 行財政マネジメントの管理指標（K P I）
 - オ 重点施策の管理指標（K P I）

第2章 実施計画書（重点政策に基づく主要事業）・・・・・・・・ 15

- 1 実施計画書の見方
- 2 実施計画書一覧
- 3 重点政策Ⅰ「産業の活性化と雇用の確保」
- 4 重点政策Ⅱ「子育て支援と教育の充実」
- 5 重点政策Ⅲ「定住支援」

第3章 事業評価書（予算科目ごとの事業評価）・・・・・・・・ 52

- 1 事業評価書の見方
- 2 所属別事業評価書

第4章 施策評価書（施策の進行管理）・・・・・・・・ 252

- 1 施策評価書の見方
- 2 施策評価書

資料編

- 1 町民意識調査（アンケート）結果
- 2 職員意識調査（アンケート）結果
- 3 財政計画表

第1章 アクションプラン策定にあたって

Ⅰ 第7次南知多町総合計画とは

本町が目指す将来イメージやそれを実現するための施策などを示した「まちづくりの指針」となる最も重要な計画であり、「基本構想」と「アクションプラン」の2つで構成されます。

【総合計画の構成】

基本構想	将来イメージ	絆・選ばれる理由があるまち ～ Bonding , reason to be chosen ～			
	基本理念	暮らし続けられるまちを”あなた”とつくる			
	基本目標	基本目標1 地域で育む ひとづくり	基本目標2 地元をにぎわす しごとづくり	基本目標3 安心できる まちづくり	行財政 マネジメント
	基本施策	24の基本施策 1-1～1-7 2-1～2-7 3-1～3-7 4-1～4-3			
	重点政策1	産業の活性化と雇用の確保			
	重点政策2	子育て支援と教育の充実			
	重点政策3	定住支援			
アクションプラン	実施計画	重点政策に位置付けられる主要事業 (翌年度以降3か年の実行計画)			
	業務改善 推進計画書	行財政マネジメントにおける業務改善推進計画 (行財政改革の取組)			
	事業評価	予算科目ごとに事務事業評価を実施 (予算事業のPDCAサイクル)			
	施策評価	各施策の進捗管理を実施 (重点政策と予算科目を関連付け、町民による評価)			

用語の解説

基本構想: 町が実施する施策や事業の計画で、本町では基本計画、総合戦略を兼ねる。

将来イメージ: 将来も「こうあってほしい」と共有する本町の姿。

基本理念: 将来イメージを実現するためのまちづくりの基本的な考え方。

基本目標: 将来イメージの実現をするためのまちづくりの基本的な目標。

基本施策: 将来イメージの実現のために町が継続して取組む施策をまとめたもの。

重点政策: 将来イメージの実現に向けて優先的に取り組まなければならない政策。

アクションプラン: 基本構想を具現化するための具体的な事業の実実施計画。

実施計画: 重点政策に基づいて、本町が実施する主要事業の3か年の行動計画。

業務改善推進計画書: 行財政マネジメントにおける業務改善の取組計画。

事業評価: 予算科目に紐づく事業の実施行程～評価・改善までの流れ。

施策評価: 基本施策の指標管理及び町民評価の把握。

※町民(職員)意識調査結果: アンケート調査による町民ニーズ等の分析(資料編に掲載)。

2 アクションプラン策定の趣旨

将来イメージ「絆・選ばれる理由があるまち」を実現するため、基本理念「暮らし続けられるまちを“あなた”とつくる」に沿って、分野別の基本目標・基本施策に分類されるすべての事業のうち、重点政策に位置付けられる主要な事業の具体的な内容、時期、コスト等を明らかにした実施計画をもとに、効率的かつ効果的な行財政運営の指針とするものです。

【まちづくりの施策とアクションプランの体系図】

将来イメージ	絆・選ばれる理由があるまち																							
基本理念	暮らし続けられるまちを“あなた”とつくる																							
基本目標	地域で育むひとづくり							地元をにぎわすしごとづくり							安心できるまちづくり							行財政マネジメント		
基本施策	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	4-1	4-2	4-3
	地域で大切に	次代の担い手	生涯を通じて	個性を活かす	安心して住み	豊かな自然を	郷土愛、つな	豊かな海と産	豊かな農地と	新たな魅力や	何度も訪れた	新たなチャレ	価値ある産業	働く環境づく	まちと命を守	つながりを活	資源を活かす	安心な暮らし	暮らしを支え	多様性を認め	心と体安らぐ	持続可能な	組織・人事の	業務の高度化
	する子育て環	を育む教育環	取り組む健康	障がい者福祉	続けられる長	活かしたひと	がりを育む文	物を活かした	産物を活かした	価値を生み出	くなる観光・	ンジを創る起	を残す事業承	り	る防災	かした交通安	土地利用	を支えるイン	る地域公共交	、共に支え合	自然・住環境	行財政運営	活性化	・効率化
	境	境	づくり	祉	寿社会	づくり	化・スポーツ	水産業	農業	す商工業	交流	業支援	継支援			全と防犯		フラ	通	うコミュニテ				
重点政策	産業の活性化と雇用の確保																							
	子育て支援と教育の充実																							
	定住支援																							

基本構想を具体化（アクションプラン）

実施計画	主要事業	重点政策Ⅰ「産業の活性化と雇用の確保」を推進する事業									
		重点政策Ⅱ「子育て支援と教育の充実」を推進する事業									
		重点政策Ⅲ「定住支援」を推進する事業									
業務改善推進計画	行財政改革の取組	推進事項Ⅰ「持続可能な行財政運営」									
		推進事項Ⅱ「組織・人事の活性化」									
		推進事項Ⅲ「業務の高度化・効率化」									
事業評価	全ての事業	予算科目に紐づく各課室が実施する事業									
		総務課	防災交通課	企画財政課	産業振興課	住民課	ふくし課	議会事務局	会計課		
		税務課	成長戦略室	建設課	水道課	まちなみ環境課	健康こども課	教育課			

3 アクションプランの概要

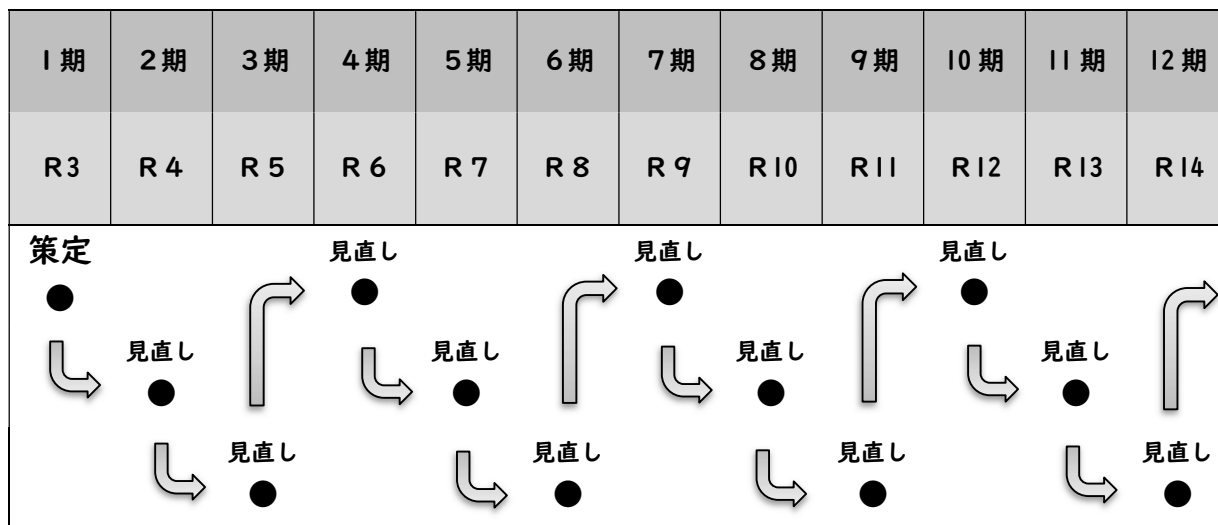
(1) アクションプランとは

基本構想を実現するための重点政策に位置付けられる「主要事業」の実施行程などをまとめたもの。毎年度、進捗管理し、新しい要素を加えたり、見直しを行ったりすることで、柔軟な町政運営の推進を図ります。

(2) 計画期間

令和3年度を初年度とする令和14年度までの12年間で、第1期から第12期アクションプランとして、毎年度更新します。アクションプランの実施計画期間は3年とし、評価委員会の結果や財政状況を踏まえ、毎年度、見直しするものです。

【アクションプランの計画期間】



(3) アクションプランの構成

アクションプランは、以下の4つで構成されています。

実施計画書

- ・重点政策に位置付けられる主要事業3か年の実行計画
- ・主要事業として30事業程度を掲載

業務改善 推進計画書

- ・行財政マネジメントにおける業務改善の取組計画
- ・行財政改革を推進するための部会を組織

事業評価書

- ・予算科目ごと実施する事業評価（PDCAサイクル）
- ・各課が実施する予算事業（200事業程度）

施策評価書

- ・重点政策の進捗管理を行うためのチェックシート
- ・3つの重点政策＋3つの行財政マネジメント

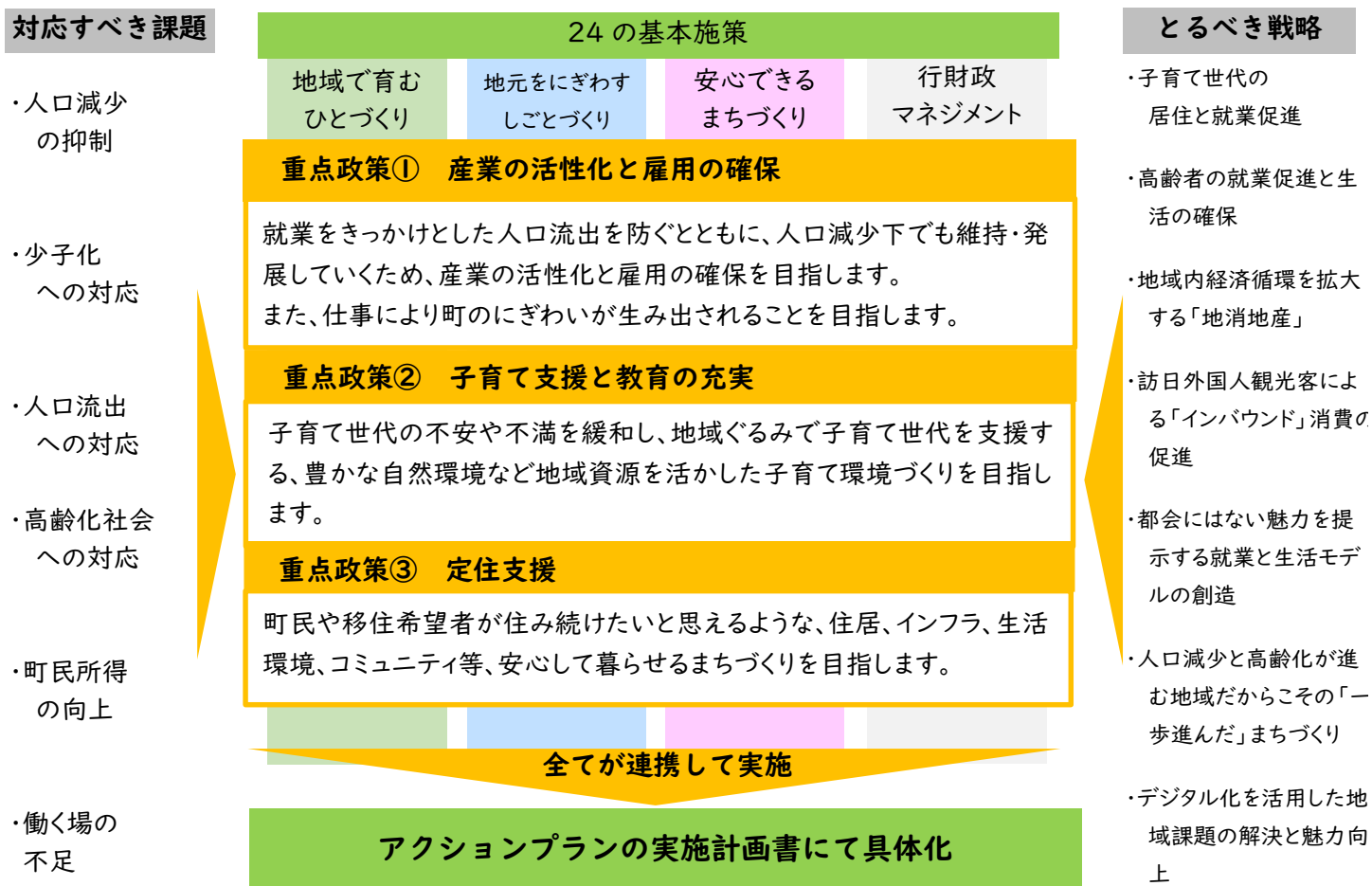
4 重点政策とは

(1) 重点政策の設定と考え方

24 の基本施策は、町が継続的に実施する施策を示しており、本来、全ての施策が“重点政策”ということになりますが、現在の一層厳しさを増している行財政状況では、まっぴらなくあらゆる項目を対象とした施策を推進した場合、あまり効果が見えてこない、結果として町民の満足度が得にくい行政を進めることになります。

そのため、早期に人口の安定化を図り、町民生活及び行財政の持続可能性を確保していくため、24 の基本施策の全てが横断的に連携し取り組んでいく「重点政策」として、「産業の活性化と雇用の確保」、「子育て支援と教育の充実」、「定住支援」の3本を位置づけ、優先順位を定めて実施していきます。

【重点政策の実行体系】



(2) 重点政策の実行

重点事業として選定し、実施計画書に記載した事業は、優先的に予算を配分し、行政の縦割りの壁を越えて様々な部署が連携して政策的に実施していきます。

このアクションプランに基づいて、各課室は予算要求をします。
町の財政状況等により不採択、次年度以降先送りとなる事業もありますので、ご理解をお願いします。

5 アクションプランの進行管理

(1) アクションプランの推進体制

アクションプランの進行管理のため、PDCAを回して取組みの成果検証を行い、検証に基づく項目の見直しや改善を行います。毎年度見直しすることで、アクションプランを進化させ、予算編成や組織改編に反映することによって、総合計画の実効性をさらに高めていきます。

(2) アクションプランの四半期スケジュール



6 総合計画の管理指標

(1) 進行管理に指標が必要な理由

- ・進むべき方向や目標が共有できる
- ・客観性が担保され、判断材料として使いやすい
- ・目標達成までの進行管理がしやすい

(2) 指標設定の考え方

より効果的・効率的に総合計画を推進するため、総合計画の成果を測る各指標（KGI・KPI）を設定するとともに、計画期間における目標値を定めています。

	種類	指標の説明
将来 イメージ	ア 目標指標 (KGI)	人口ビジョンに基づいて、将来の人口減少を抑制させるための目標数値として設定。
		令和 30 年時点で概ね1万人の人口を維持すべき出生数 65 人
基本 目標	イ 管理指標① (KPI)	3つの基本目標に対して、 町民意識調査による「満足度」「認知度」「貢献度」を 数値（ポイント）化したもの
基本 施策	ウ 管理指標② (KPI)	21 の基本施策に対して、 町民意識調査による「認知度」及び「満足度」を 数値（ポイント）化したもの
	エ 管理指標③ (KPI)	3つの行財政マネジメントに対して、 職員意識調査による「実感度」を 数値（ポイント）化したもの
重点 政策	オ 管理指標③ (KPI)	3つの重点政策の進捗を確認する毎年度の目標値 （指標の進捗を確認することによって、運用面の改善を進めていくことが重要）

用語の解説

管理指標とは・・・総合計画の進み具合をチェックするための目じるしとなるもの。

KGIとは・・・Key Goal Indicator（キーゴールインディケーター）を省略し

たもので、一般的に日本語では「重要達成目標指標」と言われ、本町の総合計画では、人口減少を抑制させるための「目標数値」となります。

KPIとは・・・Key Performance Indicators（キーパフォーマンスインディケーターズ）を省略したもので、一般的に日本語では「重要業績管理指標」と言われ、総合計画の達成度を把握し評価するための「管理指標」となります。

ア 目標指標（KGI）

町民生活を将来にわたり持続可能なものとしていくためには、少子化、人口流出、高齢化に対応し、将来の人口減少を抑制し、行財政の持続可能性を確保していくことが必要となります。そのため、これらの課題に向き合い、解決に向けまちづくりに取り組んでいくために目指すべき指標として、目標指標（KGI）を設定しました。

出生数の向上には、若年層の転出の抑制と転入の増加、出生率の向上など、人口の安定化に必要な多くの要素が関わっています。これらの要素を向上させるには、子育て支援だけでなく、仕事、住環境など、様々な観点から魅力あるまちづくりが必要となります。

そのため、重点政策に基づいて、基本施策の全てが横断的に連携し、取り組んでいるかを測るため、KGIの達成状況を毎年確認します。

【目標指標（KGI）】

令和30年時点で概ね10,000人の人口を維持するために、総合計画終了（令和14年度）時点で維持すべき出生数として、目標数値を65人とします。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14 目標値
67 人	50 人	57 人	45 人	40 人	40 人	42 人	人	人	人	人	人	人	65 人
△8 (※)	△25	△18	△30	△35	△35	△33							—

【R6の評価・分析等】

出生数を維持・向上させるには、若年層の流出抑制が不可欠です。若年層の転出理由として、教育環境や働く場の不足が大きな要因と考えます。これらの課題を踏まえ、働く場の確保を含めた定住促進策の強化に取り組んでいます。

【第1子:34.2%、第2子:31.6%、第3子以降:34.2%】

※R1～R6は目標値75人に対しての差、R7～R13は目標値65人に対しての差

イ 基本目標の管理指標（KPI）

まちづくりは、町民、企業、関係団体、その他多くの人々がそれぞれの取り組みについて知り、積極的にに関わり、可能な範囲で貢献し、それらの活動によって満足度を高めていくことが重要です。

そのため、町民意識調査により3つの基本目標を構成する21の基本施策に対し、認知度、満足度、貢献度を測り、これらを総合して数値化したものを、総合計画全体を評価する指標として、基本目標の評価指標（KPI）として、次のとおり設定し、毎年確認します。

管理指標（KPI）＝ ひとづくり指標、しごとづくり指標、まちづくり指標

指標名	現状値 (前期平均)	R7	R8	R9	R10	目標値
ひとづくり 指標	42	48 	53 			62
しごとづくり 指標	36	38 	41 			56

指標名	現状値 (前期平均)	R7	R8	R9	R10	目標値
まちづくり 指標	40	37 	43 			60

【現状値の計算方法】

町民意識調査結果から認知度、満足度、貢献度を計算します。いずれも、全回答者のうち1～2を回答した方の割合を測ります。ここでは全ての方にまちづくりに参加してもらいたいという趣旨から、全回答者を対象とします。

例) 全回答者 90 人

うち 認知度1～2を回答した回答者 70 人 $\div$ 90 人 $\times$ 100 $\rightarrow$ 満足度 78

満足度1～2を回答した回答者 40 人 $\div$ 90 人 $\times$ 100 $\rightarrow$ 認知度 44

貢献度1～2を回答した回答者 60 人 $\div$ 90 人 $\times$ 100 $\rightarrow$ 貢献度 67

認知度、満足度、貢献度すべてをまとめて1つの指標で表現するため、次のような形で基本目標を計算します。

例) 仕事づくり指標 = $0.3 \times \text{認知度} + 0.4 \times \text{満足度} + 0.3 \times \text{貢献度}$

$\rightarrow 0.3 \times \text{認知度 } 78 + 0.4 \times \text{満足度 } 44 + 0.3 \times \text{貢献度 } 67 = 61 \text{ ポイント}$

※認知度、満足度、貢献度共に同一基本目標内の施策平均を使用します。

なお、総合計画（中期）開始前の現状値は、前期（令和3年度～令和6年度）の平均値とします。

【目標値の計算方法】

(ア) 前期（令和3年度～令和6年度）の平均値から 20pt 上昇させる。

例) 現状値: 61pt $\rightarrow$ 目標値: 81pt

町民意識調査の選択肢

認知度	1よく知っている	2ある程度知っている	3知りたいと思う	4知らない
満足度	1とても満足	2ある程度満足	3少しは満足	4満足していない
貢献度	1大いにある	2少しはある	3やってみようと思う	4やろうとは思わない

ウ 基本施策の管理指標（KPI）

基本目標の KPI の向上を通じて、多様な人々がつながり、選ばれるまちづくりを目指します。さらに、21 の基本施策では、町民意識調査による満足度を KPI として設定し、毎年度測定することで、基本目標の達成に向け、各施策の課題を把握し改善を図っていきます。

管理指標（K P I）＝ 町民意識調査による満足度

指標名	現状値 (前期平均)	R7	R8	R9	R10	目標値 (R10)
1-1 地域で大切にする子育て環境	56	74	87			76
1-2 次代の担い手を育む教育環境	56	80	90			76
1-3 生涯通じて取り組む健康づくり	69	65	89			89
1-4 個性を活かす障がい者福祉	67	76	77			87
1-5 安心して住み続けられる長寿社会	60	61	72			80
1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり	57	58	74			77
1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ	66	59	82			86
2-1 豊かな海と産物を活かした水産業	56	71	79			76
2-2 豊かな農地と産物を活かした農業	61	64	66			81
2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業	46	68	74			66
2-4 何度も訪れたい観光・交流	53	41	70			73
2-5 新たなチャレンジを創る起業支援	53	72	68			73
2-6 価値ある産業を残す事業承継支援	52	63	80			72
2-7 働く環境づくり	57	70	67			77
3-1 まちと命を守る防災	63	69	84			83
3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	61	63	78			81
3-3 資源を活かす土地利用	44	55	45			64
3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	61	68	60			81
3-5 暮らしを支える地域公共交通	56	51	62			76
3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	49	63	67			69
3-7 心と体安らぐ自然・住環境	54	81	74			74

【現状値の計算方法】

まず、町民意識調査の全回答者のうち、認知度で1～2を回答した回答者を測定の対象とします。

測定対象者のうち、満足度について、1～2を回答した方の割合を測ります(=不満足と回答していない人の割合)。

例) 全回答者 90 人

うち認知度1～2を回答した測定対象者 80 人

測定対象者のうち、満足度で1～2を回答した方 48 人

⇒ 満足度 $48 \text{ 人} \div 80 \text{ 人} \times 100 = 60$ ポイント

【目標値の計算方法】

(ア) 前期(令和3年度～令和6年度)の平均値から 20pt 上昇させる。

例) 現状値:60pt → 目標値:80pt

町民意識調査の選択肢

認知度	1よく知っている	2ある程度知っている	3知りたいと思う	4知らない
満足度	1とても満足	2ある程度満足	3少しは満足	4満足していない
貢献度	1大いにある	2少しはある	3やってみようと思う	4やろうとは思わない

エ 行財政マネジメントの管理指標（KPI）

厳しい財政状況が続く中で、将来イメージを実現するためには、行政の縦割りの壁を越え、多くの政策分野を横断的に取り組み、様々な部署が連携するだけでなく、地域や民間の活力を活用するなど、従来の行財政マネジメントを革新していくことが求められます。

そのため、町民意識調査と同様に、町職員に対しても職員意識調査を実施し、町の取り組みに対する実感度を毎年度確認します。

評価指標（KPI）＝ 職員意識調査による実感度

指標名	現状値 (前期平均)	R7	R8	R9	R10	目標値 (R10)
4-1 持続可能な行財政運営	58	80	71			78
4-2 組織・人事の活性化	62	69	39			82
4-3 業務の高度化・効率化	62	61	57			82

【現状値の計算方法】

職員意識調査の全回答者のうち、実感度について、1～2を回答した方の割合を測ります
(=実感できないと回答していない人の割合)。

例) 全回答者 100 人

うち実感度1～2を回答した測定対象者 80 人

⇒ 実感度 80 人 ÷ 100 人 × 100 = 80%

【目標値の計算方法】

(ア) 前期(令和3年度～令和6年度)の平均値から 20pt 上昇させる。

例) 現状値: 75pt → 目標値: 95pt

職員意識調査の選択肢

実感度	1 充分実感	2 ある程度実感	3 意欲は感じる	4 実感できない
-----	--------	----------	----------	----------

オ 重点政策の管理指標（KPI）

（１）産業の活性化と雇用の確保

就業をきっかけとした人口流出を防ぐとともに、人口減少下でも維持・発展していくため、産業の活性化と雇用の確保を目指します。

また、仕事により本町のにぎわいが生み出されることを目指します。

新規漁業就業者数

（産業振興課）

基準値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)	目標値(R10)
7人／年	10人／年	11人／年			9人／年
—	↑	↑			
【R7 の評価・分析等】 令和 7 年度の実績値は 20 代が5名、10 代が4名と若年層の就業者が多く、基準値を大きく上回る結果でした。次年度以降も引き続き、目標値と同等以上の新規漁業就業者を確保できるように愛知県、県漁業担い手育成支援協議会や地元漁協と連携を図り、さらなる漁業の魅力を PR していきます。なお、新規就業者に関するご相談は随時受付しています。					

新規農業就業者数

（産業振興課）

基準値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)	目標値(R10)
8人／年	2人／年	5人／年			2人／年
—	↓	↑			
【R7 の評価・分析等】 基準年である令和 5 年度は8人（内、雇用就農 6 人）と非常に高い基準値となっていますが、令和7年実績値の 5 人（内、雇用就農者 1 人）は令和 10 年目標値の2人を超える水準となっています。引き続き、新規就農の相談は随時受付しており、意欲のある就農希望者が就農出来るよう関係機関と連携していきます。					

観光客数

（産業振興課）

基準値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)	目標値(R10)
196.9 万人／年	179.2 万人／年	160.2 万人／年			280 万人／年
—	↓	↓			
【R7 の評価・分析等】 酷暑などによる影響で海水浴・釣り・遊覧等の観光客数が減少しました。今後については、食・体験・宿泊などを組み合わせた滞在型観光を推進し観光客の増加を目指します。					

課税法人数

（税務課）

基準値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)	目標値(R10)
655 法人	659 法人	673法人			655 法人
—	↑	↑			
【R7 の評価・分析等】 課税法人数については、法人区分ごとの増減はあるものの、全体としてはほぼ横ばいとなっています。					

（２）子育て支援の教育の充実

子育て世代の不安や不満を緩和し、地域ぐるみで子育て世代を支援する、豊かな自然環境など地域資源を活かした子育て環境づくりを目指します。

希望^{※1}の保育に入所している乳・幼児の割合

（健康こども課）

基準値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)	目標値(R10)
100%	100%	100%			100%
—	→	—			
【R7の評価・分析等】 希望するすべての児童が保育所に入所することができました。					

一時保育の申込みに対する利用率

（健康こども課）

基準値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)	目標値(R10)
100%	100%	100%			100%
—	→	—			
【R7の評価・分析等】 一時保育の申込みのあった児童は、すべて一時保育を利用することができました。					

放課後児童クラブの申込に対する充足率

（健康こども課）

基準値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)	目標値(R10)
100%	100%	100%			100%
—	→	—			
【R7の評価・分析等】 入会希望者は、すべて児童クラブに入会することができました。					

高校生のSEA S CARD^{※2}所有率

（防災交通課）

基準値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)	目標値(R10)
49%	60%	69%			70%
—	↑	↑			
【R7の評価・分析等】 補助制度開始から2年半が経過し、制度の認知度がさらに高まった結果、R6の60%からR7は69%へと9ポイント向上しました。目標値(R10:70%)まで残り1ポイントと迫っており、目標達成が射程圏内に入っています。引き続き学生の頃から公共交通に慣れ親しんでいただくことで、将来の定住促進につなげていくため、制度のさらなる周知と利用しやすい仕組みの改善を進めていきます。					

（３）定住支援

町民や移住希望者が住み続けたいと思えるような、インフラ、生活環境、コミュニティ等、安心してらせるまちづくりを目指します。

社会増減数（日本人の転入者数－転出者数）

（企画財政課）

基準値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)	目標値(R10)
-157 人／年	-201 人／年	-133 人／年			-141 人／年
—	↓	↑			
【R7 の評価・分析等】 転出超過は減少しました（前年度比 68 人／年）。目標値は達成しているものの依然として転出者超過となっています。引き続き若年層の流出抑制や、定住促進が求められます。					

海っ子バス利用者数

（防災交通課）

基準値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)	目標値(R10)
24.8 万人／年	26.5 万人／年	28.6 万人／年			30 万人／年
—	↑	↑			
【R7 の評価・分析等】 R5 の路線再編以降、利用者数は増加傾向が継続しており、R6 の 26.5 万人から R7 は 28.6 万人へと 2 万人超の増加となりました。目標値（R10:30 万人）まで残り 1.4 万人と着実に近づいています。 一方、路線再編により移動が不便になった交通空白地域の課題への対応が引き続き必要です。 今後はデマンド交通の導入に加え、自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）の導入も視野に入れ、路線バスでは対応困難なきめ細かな移動ニーズに応える多様な交通手段の組み合わせを検討し、町民の皆様が利用しやすい地域公共交通の実現を目指していきます。					

公有財産（未利用地）の利活用数（延べ）

（企画財政課）

基準値(R5)	実績値(R6)	実績値(R7)	実績値(R8)	実績値(R9)	目標値(R10)
0 件	0 件	0 件			4 件
—	→	→			
【R7 の評価・分析等】 公有財産（未利用地）の利活用の方向性を模索しているものの、具体化には至っていません。今後も利用促進に向けて取り組んでいきます。					

※1 第1希望又は第2希望のこと。

希望別の入所している乳・幼児の割合は以下のとおり。

	基準値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	実績値 (R8)	実績値 (R9)	実績値 (R10)
第1希望	100%	100%	100%			
第2希望	—	—	—			

※2 運賃を町が全額補助し、無料で海っ子バスを利用できる IC カードのこと。